

# 織部向付 2個

- 【粘土】 まぜ白土
- 【重さ】 800g
- 【手法】 タタラ型作り 6 mm
- 【装飾】 弁柄絵付



布の上でたたく。左右に12mm のタタラ板をセットし、上にも布を置いてローラーでのです。布とタタラ板を6mm 分はずし、切金で切って2枚にする。手口クロの上にガムテープの芯、型をのせ片栗粉をはたく。



型に土をかぶせ、カーブに沿わせ内側に巻き込むようにする。ひっくり返して針で余分な土を切る。静かに型をはずす。バリを内側に入れひびはなせておき、半乾燥させる。



半乾燥後、縁を整える。カンナで削り、少し面取りをする。サインをし、乾燥後素焼。



素焼後、鉛筆で模様を下描きする。弁柄で絵付する。模様完成。裏に撥水剤をぬる。



織部釉と灰釉をそれぞれ混ぜておき、織部釉を下描きした鉛筆の線まで掛ける。

織部釉の水気が引いたらすぐ全体に灰釉を掛ける。

裏をスポンジで拭く。本焼は酸化焼成。

## ワンポイントアドバイス 石膏型の作り方



多めの水に石膏を振り入れる。縁を叩き気泡を出す。2〜3分沈殿させ上水を切る。泡が立たないように混ぜる。※下水に流すと詰まります。



水平の台に乗せたボールに石膏を流し入れる。縁を叩いて気泡を出す。半凝固で持ち手を掘る。固まったらボールを外す。※ポイントは、気泡を入れないことと、よく混ぜること。



耐水ペーパーで角を取り、濡れタオルをかぶせ一日乾燥しないよう養生。(24時間固まり続け丈夫になる)